

保護者が子どもと一緒に食事づくりをするようにすることと 子どもの食生活の心配事との関連

～平成 27 年度乳幼児栄養調査データを活用した解析～

研究分担者 石川 みどり（国立保健医療科学院 生涯健康研究部）
衛藤 久美（女子栄養大学 栄養学部）
祓川 摩有（聖徳大学 児童学部児童学科）
横山 徹爾（国立保健医療科学院 生涯健康研究部）
吉池 信男（青森県立保健大学 健康科学部栄養学科）
研究協力者 三好 美紀（青森県立保健大学 健康科学部栄養学科）

研究要旨

保護者が子どもと一緒に食事づくりをするようにすることと、子どもの食生活の心配事との関連を明らかにした。平成27年乳幼児栄養調査データを用いて、一緒に食事づくりをする・しない群と親の心配事の11項目（食べるのに時間がかかる、偏食する、むら食い、遊び食べをする、食事よりも甘い飲み物やお菓子を欲しがると、小食、早食い、よくかまない、食べものを口の中にためる、食べること（食べもの）に関心がない、食べすぎる、食べものを口から出す）との関連を検討した。その結果、親子一緒に食事づくりは、偏食する、遊び食べ、食べすぎの心配がないこととの有意な関連がみられた。

A. 研究目的

2015年に実施された厚生労働省の乳幼児栄養調査の結果において、保護者にとっての子どもの食生活の心配事に、「食べるのに時間がかかる」、「食べるものが偏っている」、「食べる量が一定でない（むら食い）」、「遊びながら食べる」、「食事より甘いものを欲しがると」、「食べるのが早くよく噛まない」等が多く挙げられた。このような、保護者が抱える食の心配事を軽減するための支援方法を検討することは重要である。

幼稚園や保育所での食育等により、上記の改善がみられたことの有効性を報告した研究はある。しかし、幼児の食行動の形成に最も大きな影響を与えるのは、家庭での保

護者自身の食生活態度、親子コミュニケーション、保護者の子どもへの教育等である。それらの内容が、幼児の食事の心配事を軽減するののかについての報告は未だ少ない。

一方、近年、学童期の偏食、早食い、食事よりも甘い飲料・菓子の摂取等を改善するための方法として、家庭や学校での食事づくり力の向上が重要であるとする報告が複数みられる。例えば、日本の食育事業において、学校のカリキュラムに、食事づくりを含めた授業と実習を実施したことにより、野菜嫌いと偏食が改善した。

幼児期においても、保育所や幼稚園等の食育に、親子での食事づくりを取り入れている施設はあり、その結果、野菜嫌いの改善

に効果があったという実践報告はある。

家庭においても、保護者が幼児期の我が子と一緒に食事づくりを行うことはあるであろう。しかし、保護者と子どもと一緒に食事をつくるのが、子どもの食行動にどのような影響を与えているかを示した報告は極めて少ない。

そこで、報告者は、保護者が子どもと一緒に食事づくりをするように気を付けていることで、保護者が心配する子どもの偏食、むら食い、遊び食べ、甘いものを欲しがる、噛まないなどの心配事の軽減につながっているのではないかと考えた。

従って、本研究の目的は、保護者が子どもと一緒に食事づくりをすることは、子どもの心配事の軽減に関連するのかを、検討することである。

B. 方法

2015年乳幼児栄養調査データベースを利用申請し、解析に使用した。

(1) 乳幼児栄養調査の方法

平成27年国民生活基礎調査において無作為に設定された1,106地区内の世帯のうち、平成27年5月31日現在で6歳未満の子ども（平成21年6月1日から平成27年5月31日までに生まれた子ども）のいる世帯及びその子どもとした。ただし、平成27年9月豪雨の影響により、茨城県内の3地区は除いた。調査は、平成27年9月に実施された。

調査方法は、まず、厚生労働省から県に、調査方法を説明し、自治体の保健所が調査員を雇用し、被調査者が被調査世帯を訪問した。調査員は、子どもの母親（もしくは、子どもの食事に関わっている養育者）に調

査票の記入を依頼し、後日、調査員が調査票を回収した。

(2) 調査項目

本研究の目的となる目的変数は、保護者に対して「あなた（保護者）は、お子さんと一緒に食事をつくるようにしていますか。」と尋ねられた。保護者は、「はい」または「いいえ」で回答した。説明変数のうち、保護者に関する項目には、続柄、年齢、就労状況、同居家族、経済的・時間的ゆとり、子どもの昼間の預け先、が尋ねられた。

さらに、保護者にとっての子どもの心配事（11項目）について、食べるのに時間がかかる、偏食する、むら食い（食事量が一定でない）、遊び食べをする、食事よりも甘い飲み物やお菓子を欲しがる、小食、早食い、よくかまない、食べものを口の中にとめる、食べること（食べもの）に関心がない、食べすぎる、食べものを口から出す、ことが尋ねられた。

保護者は、「はい」または「いいえ」で回答した。

子どもに関する項目には、年齢、栄養状態（肥満度）、食物アレルギーの有無、虫歯の有無、テレビ・ゲーム等の視聴時間が尋ねられた。

さらに、食事の摂取状況には、穀類、魚、肉、卵、大豆・大豆製品、野菜、果物、牛乳・乳製品、果汁など甘味飲料、菓子（菓子パンを含む）、インスタントラーメンやカップ麺、ファーストフード等の摂取頻度が尋ねられた。

幼児の身長と体重の結果から、痩せおよび肥満度の判定結果を得た。

(3) 協力率及び解析対象

調査の協力が得られた世帯数は 2,992 世帯、その時点で 6 歳未満の子どもは 3,936 人であった。その後、65 人の子どもの年齢の情報が得られなかった調査票が除外された。最終的に 3,871 人の調査票が回収された。データベースは、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課により作成された。

本研究では、解析に必要な全項目に回答した 2,237 名を解析対象にした。(対象者の 56.8%)

(4) 統計解析

子どもと一緒に食事をつくるようにしているか否かの 2 群において、保護者の属性、社会経済的状況、子どもの昼間の預け先について比較検討し、子どもの特徴の違いについても比較検討を行った。

次に、子どもの心配事についての比較検討を行った。その後、「子どもと一緒に食事をつくる」を目的変数として、「子どもの困り事の項目」(11 項目)との関連について、ロジスティック回帰分析を行った。単変数分析(モデル 1: 親の続柄、子の性別、親の就労状況、家族構成で調整、モデル 2: 親の続柄、子の性別、親の就労状況、家族構成、経済的ゆとり、時間的ゆとり、昼間の預け先で調整)を行った。最後に、2 群における子どもの食品摂取状況を確認した。

統計解析には、SAS software, version 9.2 (SAS Institute, Inc., Cary, NC, USA)を利用した。

(国立保健医療科学院：研究倫理審査委員会：承認番号 NIPH-IBRA#12188)

C. 結果

(1) 表 1 に、食事を一緒につくる・つくらない群別、保護者の社会経済的状況を示した。

一緒に食事をつくる群は、つくらない群に比べ、時間のゆとりがあった ($p=0.0002$)。しかし、属性(父か母か)、親の年齢、就労状況、同居家族、経済的なゆとり、昼間の預け先について、両群に違いはみられなかった。

(2) 表 2 に、食事を一緒につくる・つくらない群別、子どもの特徴を示した。

子どもの年齢、栄養状態(肥満度)、食物アレルギー、虫歯の有無については、両群に違いはなかった。テレビ・ゲーム等の視聴時間については、一緒に食事をつくる群は、つくらない群に比べ、平日 ($p=0.025$)、休日 ($p=0.015$)ともに視聴時間が有意に少なかった。

(3) 表 3 に、食事を一緒につくる・つくらない群別、保護者にとっての子どもの心配事(11 項目)を比較した。

心配事の項目は、保護者の心配事として多く挙げられた順番に示されている。最も多い心配事は、食べるのに時間がかかる(33.1%)、続いて、偏食する(31%)、むら食い(食事量が一定でない)(25.0%)、遊び食べをする(23.8%)、食事よりも甘い飲み物やお菓子を欲しが(18.2%)、小食(15.9%)、早食い/よくかまない(8.9%)、食べものを口の中にためる(6.2%)、食べること(食べもの)に関心がない(5.5%)、食べすぎる(4.9%)、食べものを口から出す(4.2%)であった。

一緒に食事をつくる群は、つくらない群に比べ、偏食しない ($p=0.034$)、遊び食べをしない ($p=0.007$)、食べすぎない ($p=0.036$) 者の割合が一緒につくらない群よりも多かった。

(4) 表4に、「食事を一緒につくること」と「困り事がない」との関連を示した。

その結果、単変数分析モデル1では、食事を一緒につくることに、偏食しない (OR:1.39 95%CL: 1.02-1.91, $p=0.039$)、遊び食べをしない (OR:1.59 95%CL: 1.11-2.28, $p=0.013$)、食べすぎない (OR:0.57 95%CL: 0.34-0.97, $p=0.040$) が関連していた。

モデル2においても、食事を一緒につくることに、偏食しない (OR:1.39 95%CL: 1.01-1.91, $p=0.041$)、遊び食べをしない (OR:1.56 95%CL: 1.08-2.25, $p=0.017$)、食べすぎない (OR:0.55 95%CL: 0.32-0.94, $p=0.030$) が関連していた。

(5) 表5-1、5-2に、食事を一緒につくる・つくらない群別、子どもの食品群別摂取頻度を示した。一緒に食事をつくる群は、つくらない群に比べ、魚 ($p=0.011$)、大豆・大豆製品 ($p=0.001$)、野菜 ($p=0.003$)、牛乳 ($p=0.002$) の摂取頻度が多かった。また、食品多様性(毎日摂取する食品群種類数)も広がった ($p<0.0001$)。

一方、つくらない群はつくる群に比べ、ファーストフードの摂取頻度が多かった ($p=0.002$)。

D. 考察

(1) 親子で一緒に食事をつくることと親の

子どもの心配事との関連

本研究の結果から、親子で食事づくりをするようにすることが、子どもの食生活の心配事のうち、偏食する、遊び食べをする、食べすぎる、がないことに関連することが示唆された。

1998年の日本人幼児を対象にした先行研究において、幼児期の家族で、親子一緒に調理を行う栄養教育アプローチが子どもの食行動の改善に影響を与えるという報告がある。しかし、それ以降の先行研究においては、学童期における親子の食事づくりによる食事摂取意欲の向上についての報告はあるが、幼児期において親子一緒に食事をつくることに関する研究は見当たらない。従って、本解析から得られた結果は、非常に貴重なものである。

アメリカの介入研究において、幼児と保護者に対し、健康的な昼食やレシピ等の提供により、親子が食事づくりを行うと、子どもは親に食材について尋ねる行動をとるため、親子のコミュニケーションが活発になるという報告がある。このように、食事づくりのプロセスで子どもと保護者の会話から子の状況を確認することになり、心配が緩和されるのかもしれない。

(2) 親子で食事をつくることと子どもの食事摂取状況との関連

親子で食事をつくることは、乳幼児栄養調査の報告結果において、摂取頻度が少なかった魚、大豆・大豆製品、野菜、牛乳の摂取頻度が多かった。重要な栄養素を多く含む食品の摂取に関連していた。さらに、ファーストフードの摂取頻度が少なかった。

必要な栄養量を不足しがちな栄養素を含

む食品の摂取に関連することが明らかになった。保育所、幼稚園など、昼間に子どもがいる場所において、幼児期の集団での教育において食事づくりを行うことはあり、偏食の減少に効果があることは報告されている。本研究では、家庭での親子の食事づくりが健康な食品摂取と関連することが明らかとなった。

(3) 本研究の限界

一点目は、本研究で活用したデータにおける回答率が、対象者の56.8%であったことである。私たちは、厚生労働省、平成27年乳幼児栄養調査のデータベースを活用したが、今後、幼児をもつ保護者は若く、就労している者も多いため、回収率を上げるため調査方法の検討が必要である。

二点目は、本解析に用いたデータは必要な項目全てに回答した者を抽出したため、回答者3,936名中の2,237名であった。未回答が多かった項目は、身長・体重、経済的ゆとりであった。両項目は回答しにくかったことが想像される。本調査は10年毎に実施されているため、次回の調査に向け、そのような項目の回答率を上げるための方法の検討が必要である。

三点目は、保護者の食生活に関する項目が限られていたことである。本研究では、保護者自身の生活の中での食事づくりに着目したが、他の項目は少なく、今後、幼児の生活形成との関連を検討することは重要である。このような限界があったものの、保護者が子どもと一緒に食事をつくることにより、本研究では、子どもの食生活の心配事を軽減することを示唆した。

E. 結論

保護者が、食事を親子で一緒につくるように気をつけることは、保護者にとっての子どもの食生活の心配事を軽減させる可能性があることが示唆された。

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1) Ishikawa M, Eto K, Miyoshi M, Yokoyama T, Haraikawa M, Yoshiike N. Parent-child cooking meal together may relate to parental concerns about the diets of their toddlers and preschoolers: a cross-sectional analysis in Japan, *Nutrition Journal*, 2019; 18:76
<https://doi.10.1186/s12937-019-0480-0>

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 親子で一緒に食事をつくる・つukならない群別 保護者の社会経済的状況

			一緒に食事を		p		
			つukらない n=2004	つukる n=233			
続柄	子の母親		1957	97.7	231	99.1	0.231
	子の父親		47	2.4	2	0.9	
年齢†	平均・標準偏差	歳	36.0	5.1	35.4	5.5	0.101
就労状況	現在働いているか	はい	1135	56.6	132	56.7	0.996
		いいえ	869	43.4	101	43.4	
同居家族	シングル	母か父・子	75	3.7	14	6.0	0.365
	シングル	母か父・祖父母・子	64	3.2	7	3.0	
	2世代	母・父・子1人	314	15.7	44	18.9	
	2世代	母・父・子複数	1209	60.3	128	54.9	
	3世代	母・父・子・祖父母	339	16.9	40	17.2	
	その他(祖父母、両親以外の大人と同居)		3	0.2	0	0.0	
ゆとり	経済的ゆとり	ある	155	7.7	26	11.2	0.357
		ややある	423	21.1	42	18.0	
		どちらとも	668	33.3	80	34.3	
		あまりない	580	28.9	63	27.0	
		全くない	178	8.9	22	9.4	
	時間的ゆとり	ある	144	7.2	36	15.5	0.000
		ややある	452	22.6	59	25.3	
		どちらとも	459	22.9	42	18.0	
		あまりない	746	37.2	74	31.8	
		全くない	203	10.1	22	9.4	
	総合的ゆとり	ある	204	10.2	41	17.6	0.011
		ややある	594	29.6	60	25.8	
		どちらとも	777	38.8	91	39.1	
		あまりない	371	18.5	35	15.0	
		全くない	58	2.9	6	2.6	
預け先	保育所(園)	はい	827	41.3	98	42.1	0.816
		いいえ	1177	58.7	135	57.9	
	幼稚園	はい	747	37.3	91	39.1	0.595
		いいえ	1257	62.7	142	90.9	
	認定こども園	はい	126	6.3	16	6.9	0.731
		いいえ	1878	93.7	217	93.1	
	祖父母や親戚	はい	105	5.2	8	3.4	0.234
		いいえ	1899	94.8	205	96.6	
	お願いしていない	はい	248	12.4	29	12.5	0.975
		いいえ	1756	87.6	204	87.6	
親の食生活	朝食摂取	毎日	1878	93.7	218	93.6	0.423
		4-5日/週	100	5.0	15	6.4	
		2-3日/週	5	0.3	0	0.0	
		1日以下/週	20	1.0	0	0.0	
		全く食べない	1	0.1	0	0.0	

p: χ^2 検定

†: t 検定

表2 親子で一緒に食事をつくる・つukらない群別 子どもの健康・栄養・生活

		一緒に食事を				
		つukらない n=2004		つukる n=233		p
年齢†	平均・標準偏差	4.2	1.1	4.3	1.1	0.310
		n	%	n	%	p
性別	男子	1062	52.9	96	41.2	0.001
	女子	944	47.1	137	58.8	
栄養状態	+30%以上 (太りすぎ)	10	0.5	4	1.7	0.731
	+20~30%未満 (やや太りすぎ)	26	1.3	2	0.9	
	+15~20%未満 (太りぎみ)	50	2.5	8	3.4	
	-15~+15% (ふつう)	1870	93.3	208	89.3	
	-15~-20%未満 (やせぎみ)	36	1.8	4	1.7	
	-20%以下 (やせすぎ)	12	0.6	7	3.0	
アレルギーの 症状	起こしたことあり	319	15.9	42	18.0	0.408
	なし	1685	84.1	191	82.0	
むし歯の 有無	ある	384	19.2	36	15.6	0.186
	ない	1619	80.8	195	84.4	
テレビ・ビデオ・ゲームの視聴						
平日	見ない・しない	25	1.3	6	2.6	0.025
	2時間まで	1512	75.5	188	80.7	
	それ以上	467	23.3	39	16.7	
休日	見ない・しない	15	0.8	5	2.2	0.015
	2時間まで	1147	57.2	147	63.1	
	それ以上	842	42.0	81	34.8	

p: χ^2 検定

†: t 検定

表3 親子で一緒に食事をつくる・つくらない群別 子どもの心配事

困りごと (多い順)		一緒に食事を						p
		全体		つくらない		つくる		
		n	%	n	%	n	%	
1 食べるのに時間がかかる	はい	740	33.1	667	33.3	73	31.3	0.549
	いいえ	1547	69.2	1387	66.7	160	68.7	
2 偏食する	はい	693	31.0	635	31.7	58	24.9	0.034
	いいえ	1544	69.0	1369	68.3	175	75.1	
3 むら食い(食事量が一定でない)	はい	559	25.0	503	25.1	56	24.0	0.722
	いいえ	1678	75.0	1501	74.9	177	76.0	
4 遊び食べをする	はい	533	23.8	494	24.7	39	16.7	0.007
	いいえ	1704	76.2	1510	75.4	194	83.3	
5 食事よりも甘い飲み物やお菓子を欲しがる	はい	408	18.2	369	18.4	39	16.7	0.531
	いいえ	1829	81.8	1635	81.6	194	83.3	
6 小食	はい	355	15.9	323	16.1	32	13.7	0.346
	いいえ	1882	84.1	1681	83.9	201	86.3	
7 早食い、よくかまない	はい	200	8.9	183	9.1	17	7.3	0.353
	いいえ	2037	91.1	1821	90.9	216	92.7	
8 食べものを口の中にためる	はい	139	6.2	124	6.2	15	6.4	0.881
	いいえ	2098	93.8	1880	93.8	218	93.6	
9 食べること (食べもの) に関心がない	はい	122	5.5	115	5.7	7	3.0	0.082
	いいえ	2115	94.5	1889	94.3	226	97.0	
10 食べすぎる	はい	110	4.9	92	4.6	18	7.7	0.036
	いいえ	2127	95.1	1912	95.4	215	92.3	
11 食べものを口から出す	はい	95	4.2	86	4.3	9	3.9	0.759
	いいえ	2142	95.8	1918	95.7	224	96.1	

p: χ^2 検定

表4 「親子で一緒に食事をつくる」に関連する子の心配事

子どもの食事の心配事 (従属変数)		親子で一緒に食事をつくる (説明変数)								
		モデル1				モデル2				
		OR	95%CI		p	OR	95%CI		p	
1 食べるのに時間がかかる	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.14	0.85	1.53	0.3953	1.11	0.83	1.50	0.478	
2 偏食する	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.39	1.02	1.91	0.039	1.39	1.01	1.91	0.041	
3 むら食い(食事量が一定でない)	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.02	0.74	1.41	0.886	1.01	0.73	1.39	0.972	
4 遊び食べをする	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.59	1.11	2.28	0.013	1.56	1.08	2.25	0.017	
5 食事よりも甘い飲み物やお菓子を欲しが	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.13	0.79	1.63	0.499	1.13	0.78	1.64	0.513	
6 小食	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.22	0.82	1.81	0.328	1.22	0.82	1.82	0.324	
7 早食い、よくかまない	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.21	0.72	2.04	0.479	1.19	0.70	2.01	0.526	
8 食べものを口の中にためる	はい	1.00				1.00				
	いいえ	0.93	0.53	1.62	0.786	0.91	0.52	1.60	0.735	
9 食べる事(食べもの)に関心がない	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.86	0.85	4.05	0.120	1.71	0.78	3.75	0.178	
10 食べすぎる	はい	1.00				1.00				
	いいえ	0.57	0.34	0.97	0.040	0.55	0.32	0.94	0.030	
11 食べものを口から出す	はい	1.00				1.00				
	いいえ	1.07	0.53	2.16	0.855	0.94	0.46	1.92	0.859	

モデル1: 親の続柄、子の性別、親の就労状況、家族構成で調整

モデル2: 親の続柄、子の性別、親の就労状況、家族構成、経済的ゆとり、時間的ゆとり、昼間の預け先で調整

OR: オッズ比; CI: 信頼区間

表 5-1 親子で一緒に食事をつくる・つukらない群別 食品摂取状況

食品群	頻度	一緒に食事を				p
		つukらない		つukる		
		n	%	n	%	
穀類	毎日2回以上	1953	97.5	231	99.1	0.167
	毎日1回	35	1.8	1	0.4	
	週に4-6日	12	0.6	1	0.4	
	週に1-3日	2	0.1	0	0.0	
	週に1回未満	2	0.1	0	0.0	
	まだ食べていない	0	0.0	0	0.0	
	魚	毎日2回以上	105	5.2	19	
毎日1回	230	11.5	33	14.2		
週に4-6日	466	23.3	56	24.0		
週に1-3日	1076	53.7	116	46.8		
週に1回未満	125	6.2	8	3.4		
まだ食べていない	2	0.1	1	0.4		
肉	毎日2回以上	245	12.2	41	17.6	0.140
	毎日1回	396	19.8	52	22.3	
	週に4-6日	905	45.2	83	35.6	
	週に1-3日	434	21.7	52	22.3	
	週に1回未満	23	1.2	3	1.3	
	まだ食べていない	1	0.1	2	0.9	
卵	毎日2回以上	79	3.9	13	5.6	0.279
	毎日1回	436	21.8	64	27.5	
	週に4-6日	708	35.3	76	32.6	
	週に1-3日	604	30.1	63	27.0	
	週に1回未満	144	7.2	13	5.6	
	まだ食べていない	33	1.7	4	1.7	
大豆	毎日2回以上	136	6.8	24	10.3	0.001
	毎日1回	411	20.5	53	22.8	
	週に4-6日	616	30.7	74	31.8	
	週に1-3日	701	35.0	65	27.9	
	週に1回未満	138	6.9	14	6.0	
	まだ食べていない	2	0.1	3	1.3	
野菜	毎日2回以上	1064	53.1	143	61.4	0.003
	毎日1回	497	24.8	41	17.6	
	週に4-6日	286	14.3	29	12.5	
	週に1-3日	135	6.7	15	6.4	
	週に1回未満	21	1.1	3	1.3	
	まだ食べていない	1	0.1	2	0.9	
果物	毎日2回以上	208	10.4	34	14.6	0.306
	毎日1回	555	27.7	60	25.8	
	週に4-6日	543	27.1	66	28.3	
	週に1-3日	531	26.5	51	21.9	
	週に1回未満	162	8.1	21	9.0	
	まだ食べていない	5	0.3	1	0.4	
牛乳	毎日2回以上	706	35.2	103	44.2	0.002
	毎日1回	718	35.8	91	39.1	
	週に4-6日	305	15.2	20	8.6	
	週に1-3日	203	10.1	18	7.7	
	週に1回未満	52	2.6	1	0.4	
	まだ食べていない	20	1.0	0	0.0	
		調整平均	標準誤差	調整平均	標準誤差	p
食品多様性†	8点満点/日	3.6	0.2	4.0	0.2	0.002

p: χ^2 検定

†: 共分散分析

親の続柄,子の性別,親の就労状況,同居家族,ゆとり,子の預け先で調整

表5-2 親子で一緒に食事をつくる・つukらない群別 食品摂取状況

		一緒に食事を				p
		つukらない		つukる		
加工食品	頻度	n	%	n	%	
果汁など甘味飲料	毎日2回以上	206	10.3	28	12.0	0.814
	毎日1回	407	20.3	52	22.3	
	週に4-6日	310	15.5	33	14.2	
	週に1-3日	666	33.2	69	29.6	
	週に1回未満	371	18.5	46	19.7	
	まだ食べていない	44	2.2	5	2.2	
菓子	毎日2回以上	241	12.0	33	14.2	0.481
	毎日1回	970	48.4	104	44.6	
	週に4-6日	364	18.2	38	16.3	
	週に1-3日	321	16.0	40	17.2	
	週に1回未満	97	4.8	17	7.3	
	まだ食べていない	11	0.6	1	0.4	
インスタントラーメン	毎日2回以上	0	0.0	0	0.0	0.082
	毎日1回	4	0.2	1	0.4	
	週に4-6日	13	0.7	2	0.9	
	週に1-3日	187	9.3	23	9.9	
	週に1回未満	1451	72.4	150	64.4	
	まだ食べていない	349	17.4	57	24.5	
ファーストフード	毎日2回以上	0	0.0	0	0.0	0.014
	毎日1回	5	0.3	1	0.4	
	週に4-6日	15	0.8	3	1.3	
	週に1-3日	232	11.6	17	7.3	
	週に1回未満	1642	81.9	188	80.7	
	まだ食べていない	110	5.5	24	10.3	
		調整平均	標準誤差	調整平均	標準誤差	p
加工食品数	4点満点/日	0.6	0.1	0.6	0.1	0.474

p: χ^2 検定

†: 共分散分析

親の続柄,子の性別,親の就労状況,同居家族,ゆとり,子の預け先で調整

本研究に係る対訳表

日本語	英語
乳幼児	toddlers and preschoolers
食べるのに時間がかかる	He/she takes too much time for eating (eats slowly)
偏食する	He/she is a picky eater (eating only certain foods)
むら食い	The amount of food intake is inconsistent (too much or too little, depending on the day)
遊び食べ	He/she plays with food/utensils while eating
食事よりも甘味食品・飲料を欲しがる	He/she craves sweetened beverage or sweets more than meal
小食	The amount of food intake is small
早食い、よくかまない	He/she eats too fast to chew well
食べ物を口の中にためる	He/she keeps food in his/her mouth
食べることに関心がない	He/she is not interested in eating
食べ物を口から出す	He/she takes food out of his/her mouth
ゆとり	affluent
乳幼児栄養調査	National nutrition survey on preschool children
国民生活基礎調査	Comprehensive Survey of Living Conditions
食事で困っていること	Parental concerns about/pertaining to/related to the diet
食事を一緒に作る行動	(parent-child) cooking meal together